

相談支援班からのおたよりです



令和4年6月1日発行

支援連携グループ相談支援班

雲の隙間から見える青空がとてもきれいに感じます。ふと目をやると、木々の緑も生き生きと輝いて、季節の移り変わりが実感できます。これからしばらくは、うっとおしい梅雨の季節になりますが、気持ちはさわやかに過ごしたいものです。



相談支援班の4月・5月

新年度のはじめは挨拶回りからスタートです。相談担当が協働する児童相談所や福祉課、ボランティアセンターなどを中心に、横須賀・三浦・逗子・葉山の3市1町を回りました。長年顔を合わせている担当者、新しく赴任された方などと短時間ではありましたが、学校へのご協力をお願いしました。

校内では、身体計測や給食などを通して生徒の様子を観察し、様々な場面での状態把握や課題を探るよう心がけ、先生方と情報の共有をしています。校外業務では依頼を受け、高等学校2件、中学校1件の巡回相談を行いました。また、市町の諸会議へ参加し、学校や地域の抱える課題の共有や今年度の取り組みについての話し合いをしました。今後、状況によってはリモート会議になることもあると思いますが、学校の活動の様子を発信し、地域の情報を収集してきます。

岩戸養護学校作業療法士(OT)より

はじめまして。岩戸養護学校に勤務して5年目。作業療法士(OT)の高橋茂喜です。今回は、この場をお借りして、私の職業、作業療法士について紹介させていただきます。作業療法士…いったいどんな仕事なの？世間であまり認知されていない職業なので、どんな相談をしたらいいの？とお思いになる方がほとんどだと思います。

人が生活を営んでいく上での活動(食事、行為、排せつ、移動etc)を「作業」とした時、その作業を上手に効果的に行えるようになるかを助ける専門職と理解してくれるとよいでしょう。ですので、「食事が上手に」「きれいな字が書けるように」「道具を使えるように」など、学校生活の中でよく見かける光景を気軽に相談してくれるとありがたいです。それを支援することによって、生徒の「わかった!」「できた!」につながるように尽力いたします。ですから、こんな相談していいの？と遠慮することはありません。どんな相談でも、まずはお声かけください。支援できることはもちろん私が、そうでない相談に対しても適任の専門職をコーディネートいたします。これからどんどん活用していただければ幸いです。

次回は生徒とのかかわりの実例を紹介していきたいと思います。どうぞお楽しみに。

特別支援学校センター的機能推進協議会のこと

5月13日、県立特別支援学校の支援グループリーダーと教育相談コーディネーターを集めての協議会が行われました。特別支援学校のセンター的機能推進に関わる窓口担当者の協議会です。

「センター的機能」は、学校アンケートなどでも出てくる言葉ですが、一般的にはわかりにくい言葉ではないかという声がありました。「センター的機能」をわかりやすく言えば、「こんな支援があればできる」「こんな環境があればわかりやすい」といった、個々の特性や困り感にそった特別支援学校での日常的な取り組みを、地域の学校などへ発信していくことです。さらに加えると、「どのような手立てがあるのか？」「どのようなことが効果的なのか？」といった困り感に助言、情報提供をすることが巡回相談です。

協議会では「センター的機能」を推進するにあたっての課題や取り組みの方向性を確認し、コーディネーターのスキルアップなどを目指すための研修や協議会を計画し、他の特別支援学校とも連携しあって進めていきます。



ちよこっとコラム

思っていることをうまく表現できない、言えない、書けないといった相談がありました。その中で感じたことの一つをお話します。

今、テレビや街なかでよく聞く言葉があります。学校でも何気なく使っている人は多いです。その言葉は「やばい」。

「おいしい」「まずい」「おどろいた」「うれしい」「こわい」「かなしい」「かわいい」「ちょっと違うのでは？」「素敵」「かっこいい」……日本語にはたくさんの場面や気持ちを表す言葉があるのに、すべて「やばい！」で完結してしまう。そして、その言葉一つで共有できてしまう。そのあたりに、自分で言葉を組み立てて表現する力が弱くなっている理由の一つがあるのではと思ったのです。

日常会話の中で、同じ言葉で完結しないようにすること、常に言葉を多用する習慣をつけていくことを心がけていきましょう。

ご家庭でも、今日の出来事や友達のことなど、話す場面を作ってみてください。そして、「なぜ？」「それからどうしたの？」「あなたはどう思ったの？」と話を広げていくことで、聞かれたことに答え、自分の思いを相手に伝えるという学習効果にもつながると思います。

●相談支援班ではお電話での相談もお受けしています。ご活用ください。

TEL：839-4503 ※進路支援班と同じ番号ですが、すぐにおつなぎします。